

PAS心理教育研究所 卒後研修センター 2022年度 プログラム



〒153-0041

東京都目黒区駒場2-8-9

Tel&FAX 03-6407-8201

Mail: pas@pas-ins.com

ホームページ : <https://www.pas-ins.com/>

PAS 心理教育研究所 プログラム概要

PAS 卒後研修センターでは、以下の訓練プログラムを提供しております。当センターでは毎月延べ400名に及ぶ専門家が自身の関心に応じて訓練を受けています。訓練期間や頻度、難易度など、多様な選択肢の中からご自分にあったプログラムをお選び頂けます。

1. プロフェッショナル・スクール(P. 4)

- (1) 心理療法課程 本科コース (毎週9 時間~/ 3 年~)
- (2) 心理療法課程 臨床科コース・専攻科コース (毎週7 時間~/ 2 年~)
- (3) 心理相談講座 (1 年~)
- (4) 心理相談入門講座 (1 年~)
- (5) Post-Doctoral 研修・研究コース (半年~)

※ 各コース内で条件を満たす科目については臨床心理士資格認定協会研修ポイント申請を行います。

2. 単発プログラム(P.7)

プロフェッショナルスクールに所属することなくご参加いただける科目・ワークショップです。月1回、週1回などルーティンで開催されるものや、年1回のワークショップなど、ご自身のご都合とニーズに沿ってお選びいただけます。いくつかの科目を組み合わせでご受講いただくことも可能です。

※ 条件を満たす科目は、臨床心理士資格認定協会研修ポイントの申請を行います。

- (1) プロフェッショナルスクール セミ・オープン
- (2) 基礎科目：基礎理論と技法
- (3) 専門科目：専門技法
- (4) ワークショップ・集中演習

3. スーパーヴィジョン(P. 29)

個人・集団でのスーパーヴィジョンが受けられます。

4. 教育分析(P. 30)

心理療法家・カウンセラー、および対人援助職としての成熟性を目指す、個人心理療法・集団精神療法です。

プログラム受講に関するコンサルテーション

ご自身に最適なプログラム・ワークショップを組み合わせでご受講いただくことで、より体系的な学習・訓練を積むことが可能です。当センターでは、学びたいことや困っている事に依りて、より最適な受講プランを練るためのコンサルテーションを提供しています(15分・無料)。複数受講に限らず、1クラスのご受講からでも、お気軽にご相談下さい。また、分割払いなど、お支払いに関するご相談もお受けいたします。

各コース・講座のお申込み

同封の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、PAS 心理教育研究所までFAX・郵送・受付での手渡し、メール、いずれかの方法によってご提出ください。お申込み頂きました後、受理通知をお送りいたします。申込書は、ホームページからもダウンロードできます。なお、お申込後1週間以内に返信がない場合、お手数ですが研究所までお電話下さい。

送り先：PAS心理教育研究所

〒153-0041 東京都目黒区駒場2-8-9

TEL & FAX 03-6407-8201

HP: <https://www.pas-ins.com> メール: pas@pas-ins.com

1. プロフェッショナル・スクール

数年単位の継続的な訓練を通して、PAS心理療法・精神分析的な心理療法・集団精神療法の理論・技法を学び、確実に実践できる技術・態度を習得するための訓練プログラムです。当スクールの特徴は、講義に加えて少人数クラスでの徹底した演習によって、厳しくも充実した訓練を受けることができる点にあります。バラバラな継ぎ接ぎの学習ではなく、一貫した理論背景に基づく体系的訓練を希望している方に適しています。

【心理療法課程（本科・臨床科・専攻科）の訓練の特色】

- ① PAS 心理教育研究所の臨床スタッフとして、実際の臨床活動に携わりながら訓練を進めます。ケースを持ち、スーパーヴィジョンを受け、臨床実践の体験から学ぶことができます。
- ② 自身の関心からプログラムを企画・運営し、技術・技法開発を進めることが可能です。また、倫理規定に則り研究活動を行なうこともできます。
- ③ 臨床スタッフ・訓練生が経験年数を問わず一同に会し、理論学習や実習を行います。熟練したセラピスト達と共に働き訓練することを通して、ファカルティ・レベルのセラピストの技術・態度を肌で体感しながら学ぶことができます。

（ 1 ） 心理療法課程 本科コース（ 3 年課程 ）

3年間で、精神分析的個人心理療法の技法・事例研究法・精神分析的集団心理療法の基礎技法の習得を目指すコースです。米国のPsy.D. トレーニング・プログラムに準ずるレベルの訓練を提供します。

○ 訓練時間：毎週月曜19:00 - 21:00 理論講義

毎週金曜14:00 - 21:00 技法演習・臨床実践・スーパーヴィジョン

その他、別途定められた日程の集中研修プログラムへの参加や、PAS 心理教育研究所の開所時間内の臨床実践（インテークや個人心理療法の担当、各種プログラムのセラピスト体験など）、単発プログラムへの参加など。

○ 授業料：年間792,000 円（税込・分割払い可能）

* 本科生は、センターで開講されるほぼ全ての単発プログラムを無料で受講できます。

○ 修了後の進路：本科課程修了者には、修了証を発行致します。修了後は、臨床科・専攻科コースへの進学が認められます。また、研究員としてPAS 心理教育研究所に所属し、引き続き臨床実践や研究に携わることができます。

（ 2 ） 心理療法課程 臨床科・専攻科コース（ 2 年課程 ）

本科課程修了者がさらなる臨床訓練を積むコースです。詳細はお問い合わせください。

(3) 心理相談講座 (1 年 ~) ※2022年度新規募集なし

心理相談の理論と実践力を日々の仕事の中で磨いていくためのコースです。

月1回のゼミを拠点とし、受講生各自が、自分自身の心理相談の理論と技法の基礎を再構築し錬磨していくための科目を履修し、総合して3年間の研修コースを組立てます。1年間のみの履修も可能です。履修科目およびゼミのなかで、日々の心理相談の仕事の課題をもとに理論と技法の基礎課題を突き合わせ、実践力を向上させる技術や分析力の習得、発展、修正作業を重ねて、年間のコース目標を達成していきます。

- 講座長：小谷英文 講師：能幸夫 (科目担当)、中村有希 (科目担当)、髭香代子 (科目担当)
- 訓練時間：適宜 (個々の研修計画による。主に、月1回 (原則第4水曜 19:00 ~ 21:00) のゼミと履修科目)
- 研修費：396,000円 (税込・分割払い可能) ○ 訓練期間：1年ごとの在籍更新
- 受講可能コース：必修科目および選択科目

※在籍年次によって異なります。詳細は別紙パンフレット及びP.7,8の表をご参照ください。

- 定員：20 名 ○ 申込み：申込書審査後、講座長による面接を経て受理。

(4) 心理相談入門講座

○講座長：花井俊紀 (ゼミ担当) 講師：小谷英文 (科目担当)、髭香代子 (科目担当)、中村有希 (科目担当)

○ 訓練時間：適宜 (個々の研修計画による。主に、月1回 (原則第4土曜 13:00 ~ 15:00) のゼミと履修科目)

- 研修費：264,000円 (税込・分割払い可能) ○ 訓練期間：1年ごとの在籍更新
- 受講可能コース：必修科目および選択科目

※今年度の履修科目については、別紙パンフレット及び P.7,8 の表をご参照ください。

- 定員：25 名 ○ 申込み：申込書審査後、講座長による面接を経て受理。

※心理相談講座・心理相談入門講座の詳細は別紙パンフレットおよびホームページをご覧ください。

(5) Post-Doctral 研修・研究コース (半年 ~)

心理療法関連領域の学位 (博士) を有し、その領域において実践・研究の実績を積んだ者が、精神分析的システムズ心理療法の技法習得、あるいは特定の研究を遂行するためのコースです。本科および卒後研修センターで開講される科目を自由に選択履修し、指導ファカルティによるスーパーヴィジョンのもと年間研修計画もしくは研究目標を定めて、研修・研究を進めます。

- 研修費：年間 792,000 円 (税込)
- 期間：研修・研究目標の達成まで。1年ごとに在籍更新とする。遠方や海外居住などの事情により、半年単位の在籍も認める。
- 半期の研修費：396,000 円 (税込)

○ 応募資格：

1. 心理療法関連領域の学位（文学博士、心理学博士、医学博士、教育学博士、Ph.D.、Psy.D. など）を有すること。
2. 心理療法関連の臨床実務経験を5年以上有すること。
3. 学術業績レフェリー付オリジナル論文を5点以上有すること。テキスト以外の専門単著は、レフェリー付きオリジナル論文3点とみなす。

2022年度入学者選考日程

心理療法課程本科コース

(1) 書類選考：応募締切：2022/10/31

(2) 選考試験

①筆記試験 2022/11/5

②グループ体験（アイデンティティグループ参加） 2022/12/3-4

(3) 面接試験（審査）

より詳しい訓練内容や選考手順に関しては、募集要項をご覧ください。訓練内容など詳しくお知りになりたい場合は、お気軽に当センターまでお問い合わせ下さい。

2. 単発プログラム

※網掛け表示の科目はオンライン開講（○…対面+オンライン、●…オンラインのみ）
 ※状況に応じて、対面のみ及びオンラインのみに変更になる場合がございます。その場合、各講師より事前にアナウンスをいたします。

*2022年度より終了時間が変更となっているプログラムがございますのでご注意ください

プロフェッショナルスクール セミ・オープン講座					
NO.	必修・選択	講座名	講師	回数	開催曜日・時間
220-1-1	プロスクール	心理療法過程論Ⅰ	能 幸夫	全8回	月 19:00-21:00
220-1-2	プロスクール	心理療法過程論Ⅱ	能 幸夫	全8回	月 19:00-21:00
220-1-3	プロスクール	精神分析的発達論	能 幸夫	全8回	月 19:00-21:00
220-3	プロスクール	フロイト文献講座	能 幸夫	全8回	月 19:00-21:00
220-4~6	プロスクール	インテーク/初回/展開ケースフォーミュレーション	小谷英文	各10回	金(全学期)
220-7	プロスクール	実習・スーパービジョン	小谷英文	各10回	金(全学期)
220-8	プロスクール	集団精神療法実習(夏のたこ天)	能 幸夫	年1回	2022/8/20-23

特別科目：プロスクールおよび心理相談講座・入門講座の必修科目					
NO.	必修・選択	講座名	講師	回数	開催日
220-9	必修：相談① ②③	心理相談ゼミⅠ-Ⅲ	小谷英文	全10回	第4水 18:45-20:30
220-10	必修：相談① ②③	事例演習Ⅰ-Ⅲ	小谷英文	全10回	第1水 18:45-20:30
220-11	必修：入門① ②③	カウンセリングゼミ	花井俊紀	全10回	第4土 13:00-15:00

基礎科目					
NO.	必修・選択	講座名	講師	回数	開催日
221-1	必修：相談① 選択：入門	PAS不安力動原論	中村有希	全10回	第3水 19:00-21:00
221-2●	必修：相談① 選択：入門・相談③	不安面接法	小谷英文	全10回	第3月 18:45-20:30
221-3	必修：相談① 選択：入門、相談③	メンタライゼーション	小谷英文	全10回	第3水 18:45-20:30
221-4○	必修：入門 選 択：相談②	ガイダンスとカウンセリングの基礎	花井俊紀	全10回	第2月 19:00-21:00
221-5○	必修：入門 選 択：相談②	臨床心理学の基礎	中村有希	全10回	第3月 19:00-21:00
221-6	必修：入門	事例演習基礎	花井俊紀	全10回	第4月 19:00-21:00
221-7●		PAS道場：カウンセリング・サイコセラピー	小谷英文	全10回	第1月 18:45-20:30
221-8	必修：本科 選 択：相談②③	臨床家アイデンティティ・グループ	髭香代子	年3回	9/3-4, 12/3-4, 3/4-5
221-9	選択：入門、相 談①	不安グループ	髭香代子	全10回	第1月 19:00-20:45
221-10●	選択：入門	心の相談	小谷英文	全10回	第2月 18:45-20:30

専門科目					
NO.	必修・選択	講座名	講師	回数	開催日
222-1	必修:相談① ②③、選択:入門	ロールプレイ:インテーク/ケースフォーミュレーション	小谷英文	全10回	第2木 18:45-20:30
222-2	選択:相談③	力動的アセスメント	能 幸夫	全10回	第1月 19:00-21:00
222-3	必修:相談② ③、選択:相談①	介入分析法:面接展開/ケースフォーミュレーション	小谷英文	全10回	第4木 18:45-20:30
222-4	選択:相談② ③	心理職・対人援助職のためのグループ	髭 香代子	全10回	第2月 19:00-20:45
222-5	必修:相談③	グループカウンセリング技法	小谷英文	全10回	第2水 18:45-20:30

ワークショップ・集中演習					
NO.	必修・選択	講座名	講師	回数	開催日
223-1		心理面接の始め方A	中村有希	年4回	6/12, 8/7, 10/16, 12/11
223-2		こころの発達セミナー:スクリーニング	中村有希	年3回	8/6, 12/10, 3/11
223-3●		心理面接の始め方B	花井俊紀	年4回	6/12, 9/11, 12/11, 3/12
223-4		対人援助職のための応答構成ワークショップ	花井俊紀・ 吉田愛	年2回	7/31, 2/26
223-5	必修:相談①、 選択:相談② ③	力動的面接法基礎	能 幸夫	年2回	7/24, 11/27
223-6	必修:本科	心理療法家のため応答構成入門	吉田愛・ 能 幸夫	年6回	5/8, 7/3, 9/4, 11/6, 1/15, 2/5
223-7		PAS面接技法集中講座	小谷英文	年4回	6/26, 10/23, 1/29, 4/16

看護プロフェッショナル					
NO.	必修・選択	講座名	講師	回数	開催日
224-1●		アドヴァンストPAS-SCTセミナー	小谷英文	全10回	第4月 18:45-20:30

特別科目－プロフェッショナルスクール セミ・オープン

科目名： 220-1-1 心理療法過程論Ⅰ

講師：能 幸夫

目標：PAS 理論による心理療法過程の展開力動を理論的に学んでいく。講義と講義に基づいたディスカッションを通じて、概念定義を明確化し、各位相のプロセス課題の理解に基づくセラピストの仕事に関して理解を深める。心理療法過程論Ⅰでは、心理療法過程論総論によって全体の地図を押さえ、心的安全空間としての心理療法装置とその構成要素を確認した上で、心理療法起動過程論と初期過程力動を理解する。

内容：

テキストおよびサブテキストを事前に読み、それに基づいて理論講義に積極的に参加し、ディスカッションを行い、理論概念の理解を確かなものにする。

1. 心理療法過程論の基本視座
2. 心理療法装置概論
3. 心理療法起動過程力動論：セラピー契約
4. 心理療法初期過程力動論Ⅰ：自由連想的発話
5. 心理療法初期過程力動論Ⅱ：初期抵抗力動
6. 初期過程力動論Ⅲ：同盟形成

テキスト：

小谷英文著『精神分析的システムズ心理療法一人は変わる一』

サブテキストとして、能幸夫編『心理療法過程論』も用いる（配布予定）

受講条件：臨床歴3年以上の現任者および申込審査により受講が認められた者

対象：公認心理師、臨床心理士、精神科医、精神看護師、CNS

日程：5～8月 第2・4月曜 19:00-21:00 全8回（Ⅰ～Ⅲ 全24回中）

5/9, 5/23, 5/30, 6/13, 6/27, 7/11, 7/25, 8/8

料金：70,400円（税込） **定員：**本科生を除き7名

科目名： 220-1-2 心理療法過程論Ⅱ

講師：能 幸夫

目標：PAS 理論による心理療法過程の展開力動を理論的に学んでいく。講義と講義に基づいたディスカッションを通じて、概念定義を明確化し、各位相のプロセス課題の理解に基づくセラピストの仕事に関して理解を深める。心理療法過程論Ⅱでは、Ⅰに引き続き、中核過程力動から終結過程力動を理解することが目的である。さらに、心理療法過程全般を通じて意味があるケースマネジメントの基礎についても学ぶ。

内容：

テキストおよびサブテキストを事前に読み、それに基づいて理論講義に積極的に参加し、ディスカッションを行い、理論概念の理解を確かなものにする。

1. 中核過程力動論Ⅰ：自由連想的発話の展開
2. 中核過程力動論Ⅱ：自由連想－自己分析展開
3. 中核過程力動論Ⅲ：再構成過程力動
4. 中核過程力動論Ⅳ：ワークスルー力動
5. 終結過程力動論：精神分析的動機の充足／解消
6. ケースマネジメント

テキスト：

小谷英文著『精神分析的システムズ心理療法—人は変わる—』

サブテキストとして、能幸夫編『心理力動論の基礎』も用いる（配布予定）

受講条件：臨床歴3年以上の現任者および申込審査により受講が認められた者

対象：公認心理師、臨床心理士、精神科医、精神看護師、CNS

日程：9月～12月 第2・4月曜 19:00-21:00 全8回（Ⅰ～Ⅲ 全24回中）

9/12, 9/26, 10/24, 10/31, 11/14, 11/28, 12/12, 12/26

料金：70,400円（税込） **定員：**本科生を除き7名

科目名： 220-1-3 精神分析的発達論

講師：能 幸夫

目標：テキスト『精神分析的システムズ心理療法—人は変わる—』第5章「発達の力」に描かれる発達過程の臨床的な事象への基盤となる精神分析的理論を押さえることを目的とする。具体的には、Freud, S. の精神性的発達論と Klein, M. の対象関係論の基本概念を確認した上で、Mahler, M. の分離—個体化理論の概説を踏まえ、病態水準としての人格構造論の基盤となる Kernberg, O. F. の精神分析的对象関係論の理解を目的とする。

内容：

テキストおよびサブテキストを事前に読み、それに基づいて理論講義に積極的に参加し、ディスカッションを行い、理論概念の理解を確かなものにする。

1. 精神分析的発達理論と精神性的発達理論
2. 対象関係的発達理論
3. Mahler の分離—個体化理論の概説
4. Kernberg の精神分析対象関係理論による発達モデル
5. PAS 理論による自我発達に軸をおいた潜伏期以降の展開
6. 臨床的応用

テキスト：小谷英文著『精神分析的システムズ心理療法—人は変わる—』

サブテキストとして、能幸夫編『心理力動論の基礎』も用いる（配布予定）

受講条件：臨床歴3年以上の現任者および申込審査により受講が認められた者

対象：公認心理師、臨床心理士、精神科医、精神看護師、CNS

日程：1～4月 第2・4月曜(1月は第5月曜も開講) 19:00-21:00 全8回（Ⅰ～Ⅲ全24回中）

1/23, 1/30, 2/13, 2/27, 3/13, 3/27, 4/10, 4/17

料金：70,400円（税込） **定員：**本科生を除き7名

科目名：220-3 フロイト文献講読講座（必修：本科）

講師：能 幸夫

目標：フロイト文献講読講座第七期は、昨年に引き続き、PAS 本科の理論コースの一部をセミ・オープンとして開講する。読んでいく文献は、『ヒステリー研究』である。『ヒステリー研究』は、Freud の心的装置の第一位相の外傷－情動モデルに基づくが、そこでの心的外傷と防衛の論考は、第二位相の局所論モデルを経て、第三位相の構造論モデルにおいて、再度そのモデルの意味が統合される。当時、治療不能とされていたヒステリーの症状の意味を解き明かし、精神療法としての精神分析の展開の端緒となった『ヒステリー研究』をもう一度しっかり理解してみよう。

内容：

1. 8回の各回に以下の諸章を読み込んでいく。
 01. まえがき／ヒステリー諸現象の心的機制について
 02. 観察 1 アンナ・O嬢
 03. 病歴 A エミー・フォン・N夫人
 04. 病歴 B ミス・ルーシー・R／病歴 C カタリーナ
 05. 病歴 D エリザベート・フォン・R嬢
 06. 理論部分
 07. ヒステリーの精神療法のために
 08. 全体のまとめ
2. あらかじめ配布された各章を事前に読み、各章ごとに面白いと思った箇所を3か所用意する。
3. 仲間と積極的にディスカッションし、文献の理解を深める。

受講条件：なし

対象：初心から中堅、もしくはベテランの臨床家およびフロイトに直接関心のある人（必ずしも臨床家にかぎらずフロイトに関心のある人も可）

日程：第3月曜日 19:00-21:00 全8回

5/16, 6/20, 10/17, 11/21, 12/19, 1/16, 2/20, 3/20

料金：70,400円（税込） **定員：**本科生以外7名まで

科目名：220-4 インテーク・ケースフォーミュレーションⅠⅡⅢ

（ⅠⅡⅢは、1年次、2年次、3年次）

講師：小谷英文

目標：インテーク手続きと面接技術をロールプレイと成果のフォーミュレーションの演習で身につける。これを基礎に年間研修を個々に組み立てられるようにするのが目的である。

内容：

1. インテークでやらなければならないことの理論の習得
2. インテークの実践面接技術の習得
3. インテークによるケースフォーミュレーション法の習得

4. ロールプレイ法の習得

対象：本科生、臨床科生、専攻科生、ポストドクトラルコース研修生

日程：1学期 金曜日 14:00-16:00

科目名：210-5 初回・ケースフォーミュレーションⅠⅡⅢ

講師：小谷英文

目標：サイコセラピイの初回面接技法演習とそのフォーミュレーションによって、サイコセラピイ展開の基礎を身につける。

内容：

1. 初回面接でやらなければならないことの習得；
相互作用メンタルメトリックスの覚醒
メンタライジング
構成の仕事
フィードバックサイクルの起動
ワーキングアライアンスの起動
2. ベイスラインケースフォーミュレーションの再構成の始め方；
試行面接5回で完成させる

対象：本科生、臨床科生、専攻科生、ポストドクトラルコース研修生

日程：2学期 金曜日 14:00-16:00

科目名：220-6 展開・ケースフォーミュレーションⅠⅡⅢ

講師：小谷英文

目標：サイコセラピイ面接の展開ノードルポイントの捉えと、そのキンドリング技法を学び、PAS サイコセラピイの PAS 量子力学介入、展開の基礎を学ぶ。

内容：

1. キンドリング技術の習得
2. 作業同盟から治療同盟への展開技法
3. 構成の仕事から再構成の仕事への展開技法
4. 修正フォーミュレーションの構成

対象：本科生、臨床科生、専攻科生、ポストドクトラルコース研修生

日程：3学期 金曜日 14:00-16:00

科目名：220-7 実習・スーパーヴィジョンⅠⅡⅢ

講師：小谷英文

目標：自身および同僚の実習スーパーヴィジョンに参加し、スーパーヴィジョンの受け方、ケースのインシデントフォーミュレーションの実践指導を受ける。

内容：スーパーヴィジョン 体験実習：自験例および同僚の事例からも学ぶ。

対象：本科生、臨床科生、専攻科生、ポストドクトラルコース研修生

日程：全学期 金曜日 16:00-20:00

科目名：220-9 心理相談ゼミ I～Ⅲ：自験例による（必修：相談①②③）

講師：小谷英文

目標：心理相談講座の各クラスの学びがカウンセリング及び心理療法の実践とどう結びつき展開されているかを確認し、理論－技法－実践を一体化し専門性の根を張ることを追求する。

内容：

自験例のケースフォーミュレーションをもとに、上記目標を追求するスーパーヴィジョンを受け、以下の課題演習を合同で徹底して行う

- 1 年次 ケースフォーミュレーションの構成
- 2 年次 ケースフォーミュレーションの分析
- 3 年次 ケースフォーミュレーションの再構成

対象：心理相談講座の受講生

日程：第 4 水曜日(11 月のみ第 5 水曜日) 18:45-20:30 全 10 回

5/25, 6/22, 7/27, 9/28, 10/26, 11/30, 1/25, 2/22, 3/22, 4/26

科目名：220-10 事例演習 I～Ⅲ（必修：相談①②③）

講師：小谷英文

目標：ケースフォーミュレーションを明示した事例報告、さらには事例研究ができる能力を身につけることが目標である。1 年間で最低一本は事例報告を完成し学会発表を目指す。

内容：

実践事例のケースフォーミュレーションと事例報告／事例研究のスーパーヴィジョン

対象：心理相談講座の受講生

日程：第 1 水曜日 18:45-20:30 全 10 回

6/1, 7/6, 8/3, 9/7, 10/5, 11/2, 12/7, 2/1, 3/1, 4/5

科目名：220-11 カウンセリングゼミ（必修：入門）

講師：花井俊紀

目標：カウンセリング・ガイダンスの実践に必要な、1) 臨床的態度、2) 心理面接の手順、及び、3) 基本面接技術を身につけること。心理相談入門講座の必修科目で学んだ理論を、実践につなぎ、着実に心理面接を実施できるようになることが目標である。

内容：

ゼミは、1) 現在の学びに関するシェアと質疑応答 (30 分)、2) ロールプレイによる面接練習 (90 分)、で構成される。1) では、入門講座全体の学びについて話することができる。2) では、以下について、それぞれの課題を明確にし、1 つずつできるようになるまで練習・演習を重ねる。

1. PAS10 ルールと臨床的態度
2. 心理面接の目的と手順の流れ
3. セラピィによるパーソナリティ変化の必要にして十分な条件 (Rogers)
4. 面接技術：記述の技術
5. Clinical Facts (臨床事実) の取り出し

6. PEA 紐過程の理解

7. ケースフォーミュレーション

対象：心理相談入門講座の受講生

日程：第4土曜日 13:00-15:00 全10回

5/28, 6/25, 7/23, 8/27, 10/22, 11/26, 12/24, 1/28, 2/25, 3/25

基礎科目

科目名：221-1 PAS 不安力動原論（必修：相談① 選択：入門）

講師：中村有希

目標：現代の多くの臨床処方不安を遠ざけている。不安を正面から取り上げ治療課題としたのがフロイトであったが、精神分析が医療の表舞台から退いた今日、実際には心理療法やカウンセリング、そのほか全ての心理相談で対峙する表玄関ともいえる不安を理解する術が失われている。フロイトの心の理解を基軸とする PAS 理論においては、不安は最も重要な変数と見なされている。この不安力動を理解することが本コースの目標である。

内容：

1. 心の働き：構造論、欲動展開理論
2. PEA 理論
3. ピニー症候発達理論
4. 驚愕反応
5. 現実不安と神経症不安

テキスト：不安ノート（PAS 出版部） ※事前購入のこと

受講条件：なし

対象：現任の心理職、精神科医、看護師、CNS、心理職を目指す大学院生

日程：第3水曜日 19:00-21:00 全10回

5/18, 6/15, 7/20, 9/21, 10/19, 11/16, 12/21, 1/18, 2/15, 3/15

料金：88,000 円（税込） **定員：**30 名

科目名：221-2 不安面接法（必修：相談① 選択：入門、相談③）*オンラインのみ

講師：小谷英文

目標：カウンセリングや心理療法は、最初の数回が勝負である。実践の場では数回、昨今では1、2回の中断も珍しくない。それは不安が無視されるためだと言い切ってもよい。不安を捉え、不安の中にクライアントの能力や成長－発達の課題を見出す原理と技法の基本能力を身につける。

内容：講義と演習

1. 不安面接法技法基軸
2. 不安力動
3. フィードバック力学
4. 不安のアセスメント
5. 不安面接法の展開

受講条件：カウンセリング／心理療法の実践に携わり自験例のあること

対象：臨床心理士、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、CNS、教師（心理相談座講座のオープンクラスとして）

日程：第3月曜日(5月は第5月曜日も開講) 18:45-20:30 全10回

5/16, 5/30, 6/20, 10/17, 11/21, 12/19, 1/16, 2/20, 3/20, 4/17

料金：88,000円(税込) 定員：30名

科目名：221-3 メンタライゼーション(必修：相談① 選択：入門、相談③)

講師：小谷英文

目標：人格水準の発達が十分ではないあるいはトラウマによる退行の著しい患者／クライアントのカウンセリング／心理療法に欠かせないメンタライジングの技法原理－基本技法を学び、これを実践運用できるになることを目的とする。受講者は、自身の臨床経験と既得技法に噛み合わせて達成可能な自己目標を追求する。

内容：講義と演習

- 1.メンタライゼーションの力動
- 2.メンタライゼーションの発達と防衛
- 3.ジェヌイネス
- 4.面接技法

受講条件：カウンセリング／心理療法の実践に携わり自験例のあること

対象：現任の心理職、ソーシャルワーカー、CNS、教師

日程：第3水曜日 18:45-20:30 全10回

5/18, 6/15, 7/20, 9/21, 10/19, 11/16, 12/21, 1/18, 2/15, 3/15

料金：88,000円(税込) 定員：15名

科目名：221-4 ガイダンスとカウンセリングの基礎*オンライン対応

(必修：入門 選択：相談②)

講師：花井俊紀

目標：ガイダンスおよびカウンセリング心理学の歴史的展開と系譜、現代の位置付けを理解し、実践技法を学ぶ基礎となる理論を身につけることを目標とする。今年度はカウンセリングの対象となる「不適応(適応障害)」をテーマにおいて、ガイダンス・カウンセリングの理解を進める。

内容：講義と演習

1. 適応と不適応
2. ガイダンスとカウンセリング誕生の背景：近代市民社会の成立と市民教育
3. ガイダンスとカウンセリング心理学：1900年代から1950年代までの歴史的展開
4. カウンセリング心理学の定義
5. カウンセリングの理論と技法：治療的人格変化のための必要十分条件・体験と経験・人格発達・相互作用メンタルメトリックス
6. カウンセリングと心理療法：違いと共通性

受講条件：①次の有資格者及び受験資格保持者：公認心理師、臨床心理士、医師、看護師、教師

②上記資格を持たないが、申込審査で受講を認められたもの

対象：教育、医療、福祉、人事などの領域に従事している方

日程：第2月曜日 19:00-21:00 全10回

5/9, 6/13, 7/11, 8/8, 9/12, 11/14, 12/12, 2/13, 3/13, 4/10

料金：88,000円（税込） 定員：30名

科目名：221-5 臨床心理学の基礎（必修：入門 選択：相談②）*オンライン対応

講師：中村有希

目標：心理療法が成立するに至った臨床心理学の系譜を学び、心理療法成立の過程から心理療法を学ぶ上で欠かせない基礎概念と理論を学ぶ。

内容：講義と演習

1. フロイト以前
2. フロイト以降
3. 人間性回復運動
4. 心理療法黄金時代
5. 現代の臨床心理学

受講条件：なし

対象：現任の心理職、精神科医、看護師、CNS、心理職を目指す大学院生

日程：第3月曜日(5月は第5月曜日も開講) 19:00-21:00 全10回

5/16, 5/30, 6/20, 10/17, 11/21, 12/19, 1/16, 2/20, 3/20, 4/17

料金：88,000円（税込） 定員：30名

科目名：221-6 事例演習基礎（必修：入門）

講師：花井俊紀

目標：臨床心理学による心理相談は、本来危機状況の「人」と向かい合って行う、1対1で死の床に侍るすなわち臨床の学である。自分と相手と1対1で徹底して相手を理解するというのが臨床心理学の事例という意味である。臨床家や相談者が、個々一人一人の人とどのように向かい合うことができるのか、事例理解とはどういうことなのかを理解することを目標とする。

内容：講義と演習

毎回、心理相談事例に向かい合う。事例資料を元に、各自がケースフォーミュレーション（事例定式化）を作成しながら、事例の理解を紐解いていく。ケースフォーミュレーションを作成するために必要なアセスメントの基礎を学ぶことができる。事例となっている多くの人に会う演習である。

受講条件：①次の有資格者及び受験資格保持者：公認心理師、臨床心理士、医師、看護師、教師

②上記資格を持たないが、申込審査で受講を認められたもの

対象：教育、医療、福祉、人事などの領域に従事している方

日程：第4月曜日 19:00-21:00 全10回

5/23, 6/27, 7/25, 9/26, 10/24, 11/28, 12/26, 1/23, 2/27, 3/27

料金：88,000円（税込） 定員：30名

科目名：221-7 PAS カウンセリング／サイコセラピー道場*オンラインのみ

講師 小谷英文

目標：精神分析的システムズ心理療法（PAS カウンセリング／心理療法／セルフケア・セラピー）の技術錬磨を進め技法を身体化することを目標とする。

内容：

自験例のケースフォーミュレーションの分析－再構成を確認し、鍵展開技法を同定によるロールプレイによる運用技法の錬磨を行う。

受講条件：精神分析的システムズ心理療法を学び、その実践技法を追求している実践家であること。

対象：カウンセリング及び心理療法の実践をしている医師、臨床心理士、公認心理士、教師、精神看護 CNS

日程：第1月曜日 18:45-20:30 全10回

6/6, 7/4, 8/1, 9/5, 10/3, 11/7, 12/5, 2/6, 3/6, 4/3

料金：88,000 円（税込） **定員：**10 名

科目名：221-8 臨床家アイデンティティ・グループ

講師：髭 香代子

目標：臨床家としての自分のアイデンティティを探求すること。

内容：

わたしはこういう臨床家だ、と胸を張って名乗れるだろうか。対人援助の臨床現場に立ち続けるということは、いつでも危機状況に立ち会い、対応できる態勢でいるということのはずだが、わたしたちはどれだけその責任を果たしているだろうか。

危機状況とは、何もとくべつなものではない。1回の面接の中でも、わたしたちは大なり小なり危機状況に直面する。言葉に詰まるとき、臨床家ではなく個人としての感情が自分を覆いつくしてしまうとき、自分や相手を見失うとき。小さな危機はいくらでもある。それらを認識し、自分にできることを最大限できるようになるためには、技術の研鑽は言うに及ばず、自らの臨床家としてのアイデンティティをたしかなものにしておくことが大きな助けになる。どんなクライアントにも、どんな危機状況にも万能に対応できる必要はないが、自分に何ができるのか、自分が何をできる臨床家でありたいのか、つかんでおく必要はある。

臨床家としてのアイデンティティを問い直し、探求し続けるためのグループである。

受講条件：なし

対象：臨床心理士、公認心理師、医師、看護師、ソーシャルワーカーなど、対人援助の臨床家（初心者からベテランまで）。

日程：第1回 9/3-4 第2回 12/3-4 第3回 3/4-5

土曜 10:00-17:00 日曜 10:00-13:40

料金：1回参加 33,000 円（税込） 3回パック 88,000 円（税込） **定員：**5名内外

科目名： 221-9 不安グループ（選択：入門、相談①）

講師：髭 香代子

目標：自分の不安と向き合い、対処できるようになること。

内容：

日常の中で、わたしたちはさまざまな場面、状況において不安を感じる。いちど不安になってしまうと、それにとらわれてしまったり、何もうまくいかないというイメージしか持てなくなったりすることがないだろうか。しかし不安には、自分の心と身体からのサインとして、豊かなメッセージがこめられている。

この不安グループは、自分の不安はどこから起きるのか、なぜ起きるのか、自分にとってどういう意味があるのかを理解し、怖がらずに対処できるようになるためのグループである。また、日々出会うクライアントの不安にも向き合えるようになるための、不安とその対処をメインテーマにした集団精神療法である。45分のセッションを、休憩をはさんで2回行う。

受講条件：なし

対象：心理職・対人援助職・それらを目指す人（初心者からベテランまで）

日程：第1月曜日 19:00-20:45 全10回

6/6, 7/4, 8/1, 9/5, 10/3, 11/7, 12/5, 2/6, 3/6, 4/3

料金：通年 55,000円（税込） 各回参加 5,500円（税込） **定員：**7名

科目名： 221-10 心の相談(選択：入門)*オンラインのみ

講師：小谷英文

目標：さまざまな病気の素になり、ハイパフォーマンスの素にもなる「不安」と「不適応（適応障害）」に関わる心の働きを理解し、どのような相手でも心の相談の口火を開き、相談に乗ることができるようになること。相談を受けながら詰まった場面を展開のチャンスにする力をつけること。

内容：対話とインシデント法による対話練習による講義

どのような精神的不調にも何らかの形の「適応障害」が現れます。その予兆に誰よりも早く気がつくのが本人であり見過ごすのも本人です。その予兆が「不安」です。その不安は、話者相手にも周囲の人にも移り（感染し）対応不能が容易に起こり、適応障害に、うつにさらにさまざまな病気やトラブルを引き起こします。

本講座では、カウンセリングやその他の相談活動、親子や大事な人間関係における対話展開に疑問を感じ、詰まってしまい困った場面に、相互の「適応」の問題とその背後に「不安」が存在することを理解し、そこで具体的にどうできるかを学んでいきます。

受講条件：なし

対象：心理職・対人援助職・コンサルタント・精神看護師・教師・親御さん

日程：第2月曜日 18:45-20:30 全10回

5/9, 6/13, 7/11, 8/8, 9/12, 11/14, 12/12, 2/13, 3/13, 4/10

料金：通年 39,600円 5回パック 22,000円 3回パック 13,200円 1回 4,400円

定員：20名

専門科目

科目名：222-1 ロールプレイ：インテイク／ケースフォーミュレーション

(必修：相談①②③、選択：入門)

講師：小谷英文

目標：力動的ロールプレイ法を学び、DER 技法、3分間面接法、事例性面接法、インシデント面接法、応答構成面接法、ワーキング・スルー面接法の基本技術を身につける。

内容：

力動的面接法の基本となる心的エネルギーの捉えを基軸にした面接展開技術を、ロールプレイ体験によって身につけ精錬する

1. インテイク面接の基本技術
2. プロセス展開の基本技術
3. 中核葛藤分析の基本技術
4. 危機介入面接の基本技術

受講条件：カウンセリング／心理療法の初心者からベテランまで、臨床家である限りにおいて精練し続けなければならない面接技法の修練を重ねようとするもの。継続受講が可であり、また、望ましい

対象：現任の心理職、精神看護 CNS、精神科医、教師

日程：第2木曜日 18:45-20:30 全10回

5/12, 6/9, 7/14, 9/8, 10/13, 11/10, 12/8, 1/12, 2/9, 3/9

料金：88,000円(税込) **定員：**15名

科目名：222-2 力動的アセスメント (選択：相談③)

講師：能 幸夫

目標：力動的アセスメントは、精神科医による診断とは目的が異なる。精神医学診断は病気か否か、病気であるならその種類の特定化にある。心理療法におけるアセスメントは、心理療法の目的を達成するために当事者の持つ能力を評価することに狙いがある。したがって、力動、すなわち人格機能の能力を同定するものであり、機能は常に動いているものであるから、力動的機能を評価し、それを根拠とした力動診断につなぐものでなければならない。本コースは、この力動的アセスメントを実践体験的に学び、基本的な手続きを身につけることを目標とする。

内容：

面接展開の中でアセスメントをすることをセラグノーシスと言う。PAS 特有の面接技法展開においてメンタライジング面接法、キンドリング法を用いてアセスメントを進める実習であり、受講生の持ち寄るケースの理解を以下の視点で、進めていく。

1. PAS-PDSE：PAS-心理力動状態査定
2. セラグノーシス
3. クライアントの人格構造機能水準のアセスメント
4. パーソナリティスタイルのアセスメント

- 5. 発達課題のアセスメント
- 6. 葛藤に関わる防衛と適応機制のアセスメント

受講条件：臨床歴3年以上の現任者および申込審査により受講が認められた者

対象：公認心理師、臨床心理士、精神科医、精神看護師、CNS

日程：第1月曜日 19:00-21:00 全10回

6/6, 7/4, 8/1, 9/5, 10/3, 11/7, 12/5, 2/6, 3/6, 4/3

料金：88,000円(税込) **定員：**本科生を除き7名まで

科目名：222-3 介入分析法：面接展開／ケースフォーミュレーション

(必修：相談②③、選択：相談①)

講師：小谷英文

目標：介入しながらケースフォーミュレーションを進めていく面接法を実践できるようになることを目標とする

内容：

進行中のカウンセリング／心理療法の自験例をもとに、ロールプレイ法を用いて下記基本技術をもとに実践訓練を進める。

1. ケースフォーミュレーション展開法
2. セラグノーシス
3. 応答構成面接法
4. 不安面接法

受講条件：カウンセリング／心理療法の初心者からベテランまで、臨床家である限りにおいて精練し続けなければならない面接技法の修練を重ねようとするもの。継続受講が可であり、また、望ましい

対象：現任の心理職、精神看護 CNS、精神科医、教師

日程：第4木曜日 18:45-20:30 全10回

5/26, 6/23, 7/28, 9/22, 10/27, 11/24, 12/22, 1/26, 3/23, 4/27

料金：88,000円(税込) **定員：**15名

科目名：222-4 心理職・対人援助職のグループ(選択：相談②③)

講師：髭 香代子

目標：グループで自由連想できるようになること、自分を表現できるようになること。

内容：

心理職だから対人・集団場面でも緊張してはいけない、対人援助職だからうまく話せるはず、というとらわれから自由になって、人前でも気楽に自分の心と付き合い、人とも向き合えるようになるためのグループ。まずはグループの中で自由連想できるようになること、さらには自分を自由に表現できるようになることを目標に、45分の集団精神療法セッションを、休憩をはさんで2回行う。

受講条件：なし

対象：心理職・対人援助職・それらを目指す人(初心者からベテランまで)

日程：第2月曜 19:00-20:45 全10回

5/9, 6/13, 7/11, 8/8, 9/12, 11/14, 12/12, 2/13, 3/13, 4/10

料金：通年 55,000円(税込) 各回参加 5,500円(税込) **定員：**7名

科目名：222-5 グループカウンセリング技法(必修：相談③)

講師：小谷英文

目標：適応障害を基本対象とするグループカウンセリングの基本構造、介入技法を身につける

内容：演習講義

模擬適応障害グループによる、グループカウンセリングの準備、構成、初動展開、展開、集結までを、個人力動と集団力動原理を運用し、セラピストの役割と介入技術を学び練習する

受講条件：下記対人援助職に携わっていること

対象：学生相談・スクールカウンセラー、産業カウンセラー、現職者、人事教育、EAP等リワークプログラム担当者

日程：第2水曜日 18:45-20:30 全10回

5/11, 6/8, 7/13, 9/14, 10/12, 11/9, 12/14, 1/11, 2/8, 3/8

料金：88,000円(税込) **定員：**15名

ワークショップ・集中演習

科目名：223-1 心理面接の始め方 A

講師：中村有希

目標：大学院卒業後、または公認心理師・臨床心理士資格取得後、初めて心理職（心理関連職・対人支援職）として働き始めた初心者が、職場で心理面接として何をするのかを基礎から学び、それぞれの職場において心理面接が実施できるようになることを目指す人のための短期集中講座である。心理面接の目的は何か、どのように面接を組み立てるのか、相談者の心の安全を図りながら何らかの成果を生み出すために必要な心理面接の手順を一から学び、体得することが本講座の目標である。

内容：

対面形式による講義と演習。全4回で、日常的な対話や相談とは異なる「心理」面接とは何か、臨床的な関わりに必要な「知識」、臨床的「態度」、そして対話の「技術」および「実践」力をロールプレイ法によって身につける。

第1回(6/12) 心理面接の目的と臨床的態度

第2回(8/7) ファーストコンタクト

第3回(12/11) 主訴の聴取

第4回(3/12) 問題の理解と面接の組み立て

受講条件：臨床心理士・公認心理師・看護師・精神保健福祉士、及び受験資格取得（受験準備者）

対象：1)「公認心理師」取得者、2)「臨床心理士」取得者、3) 大学院卒業後、1), 2) の資格受験準備者で、心理関連の仕事をしている者。特に大学院卒業後から資格所得後3年以内の初めて心理職に就いたが、どのように心理面接・カウンセリングを始めたらいいか基礎から学びたい方に適切な講座である。

日程：全4回 6/12, 8/7, 10/16, 12/11 時間：9:30-16:30

料金：4回パック料金 66,000円（税込）分割支払い可 **定員：**12名

科目名：223-2 こころの発達セミナー：スクーリング

講師：中村有希

目標：一般の方から専門家の方まで、どなたでも心の成長と発達に関心のある方なら参加可能な研修です。子どもたちへの発達促進的な関わりを学ぶ、実践演習プログラムとなります。市民プログラム「こころの発達セミナー」を受講の方は、セミナーのスクーリングに位置付けられます。学んできたことを実際のやり取り、関わりの中で身につけていきましょう。

内容：

第1回：乳幼児の子育て：子どもたちの思いを感じ取り伝える

第2回：小学生への教育と指導：意志力を養う

第3回：中高生の発達支援：自分に向かいあう力を支える

受講条件：20歳以上であること

対象：子育て、教育、カウンセリングに関心のある専門家から一般の方々まで。2022年度に「こ

ころの発達セミナー」を受講したことがある方は料金割引あり。

日時：全3回 8/6, 12/10, 3/11（土曜日開催） 時間：10:00-15:00

料金：3回パック料金（2割引） 19,200円（税込） 各回 8,800円（税込）※各回申込可
（「ころの発達セミナー」年間受講者は1回無料。単発受講者は2割引。）

定員：15名

科目名：223-3 心理面接の始め方 B*オンラインのみ

講師：花井俊紀

目標：心理面接には、理論があり手順があり必要な態度と技術がある。傾聴・共感と言ってやみくもに質問し、話をさせて、不必要に気持ちを刺激することは、相談者の心を乱すことであり避けなければならない。何を目的にどのような話を進めるのか、相談者の心の安全を守りながら何らかの成果を生み出すために必要な心理面接の手順を一から学び、覚えることが本講座の目標である。

1. 心理面接の目的を学ぶ。
2. 心理面接の始めから終わりまでの手順を学ぶ。
3. 事例理解および理解に基づいた対応の基礎を学ぶ。

内容：開講形式：テレビ会議システム（Google Meet）を利用したオンラインクラス。講義を中心に、ロールプレイなどでの体験学習を交える。

大学院卒業後、または公認心理師・臨床心理士資格取得後、初めて心理職（心理関連職・対人支援職）として働き始めた方や、看護師・ソーシャルワーカーとして面接で心理支援を行う方が、職場で何をやるのか、心理面接として何をやるのか、を簡単な基礎から学び、それぞれの職場において心理面接が実施できるようになることを目指す。

第1回：専門家として心理職・援助職を始める・心理面接の目的と目標

- ・心理面接の始め方1：自分の仕事は何か？（職責・求められていること）
- ・心理面接の始め方2：心理面接の目的と臨床的態度（Clinical Attitude）

第2回：ファーストコンタクト

- ・心理面接の始め方3：相談申込受付、会うための準備、面接者が相談者と出会う（サイコロジカルコンタクト）。
- ・心理面接の始め方4：相談者を相談の場に迎える（グランドメイトリックスによる迎え）・場の構成・安全空間生成

第3回：主訴

- ・心理面接の始め方5：主訴の聴取と記述の技術
- ・心理面接の始め方6：主訴の明確化と問題の構成

第4回：問題の理解と対応

- ・心理面接の始め方7：アセスメントとケースフォーミュレーション
- ・心理面接の始め方8：現実的問題への対処を支援する

受講条件：臨床心理士・公認心理師・看護師・精神保健福祉士、及び受験資格取得（受験準備者）

対象：上記受講条件保有者で、心理・教育・医療・福祉関連の仕事をしている者。特に大学院卒業後から資格所得後3年以内の初めて仕事に就いたが、どのように心理面接・カウンセリングを始めたらいいのか、基礎から学びたい方。オンラインで世界中どこからでも受講可

能なので、学ぶ機会が身近にない方も大歓迎。

日程：全4回 6/12, 9/11, 12/11, 3/12（日曜日開催） 時間：9:30-16:30

料金：66,000円（税込） 定員：20名

*関連プログラム：

本クラスは、オンライン開催によるため講義が中心となる。実践に向けて本クラスで学んだ臨床的態度や面接技術を練習したい受講生は、対面形式で開講される下記のワークショップ受講をお勧めする。

223-4 カウンセラー・対人援助職のための応答構成ワークショップ 講師：花井俊紀・吉田愛

科目名：223-4 対人援助職のための応答構成ワークショップ

講師：花井俊紀・吉田 愛

目標：クライアントの発話に対して、自分らしく、率直な応答ができるようになる（臨床的態度の基礎を身につける）。クライアントに対する自分の反応の特徴を掴む。

内容：

「もう死にたい…」

「学校は無駄！真面目に勉強するのも意味ない！ユーチューバーになればいいし！」

「ここに来るのをやめていいですか？」

こうしたクライアントや患者の発話に対して、あなたはどのように応答するだろうか？

人が違えば応答は異なる。どうすべきかを学ぶのではなく、自分がどのように応答するかを磨き訓練するのが応答構成法である。その場でぱっと浮かんだ「即時的応答」を書き出してみよう。それを起点に「発話内容」「クライアントの感情」「セラピストの感情」を書き出して整理する。そして、それらを全部使って、自分らしい応答を作ってみよう。これが応答構成である。

応答構成を通じて、自分らしくクライアントに応答できるようになることを目指そう。

受講条件：対人援助職に携わっていること

対象：臨床心理士・公認心理師・看護師・ソーシャルワーカー・教師などの対人援助職に関わる方、これらの対人援助職を目指す方。自分の面接を豊かにしたい方、臨床的態度を磨きたい方、おどおどせずあっさりさっぱり元気にクライアントに接したい方、経験年数を問わずどなたでも歓迎します。

日程：全2回 7/31、2/26（日曜日開催） 時間：10:00-16:00

料金：各回 11,000円（税込） 定員：10名

科目名：223-5 力動的面接法基礎

講師：能 幸夫

目標：「主訴」はクライアントの動機づけや作業同盟の軸となるのでその後の面接展開にも重要な要素であるが、クライアントは、何らかの問題を主訴として持ち込んでくるが、その中身を十分に認識してはいない。この主訴をクライアントが受容できるようになるための面接法を学ぶ。年2回でカウンセリングができるようになり、心理療法を学ぶ準備ができるワークショップである。

内容：

第1回は、クライアントが何に困っているかがわかるための面接法を学ぶ。第2回は、主訴を軸にして2人でどう取り組んでいくのかを構成するための面接法を学ぶ。2回とも、徹底した実践演習を行う。

1. 援助者のプレゼンスと理解の伝達
2. 事例性の概念とその共有
3. 問題の取り出しとその理解
4. 主体としてのクライアントの尊重
5. 浮上面接と問題の共有
6. 受容とは何か

テキスト：

『ガイダンスとカウンセリング』『精神分析的システムズ心理療法—人は変われる』

『PAS セルフケアセラピー』

受講条件：現任の対人援助職従事者で、演習にしっかり参加できる方

対象：公認心理師、臨床心理士、カウンセラー、医師、CNS、教師などの対人援助職。それらの専門を専攻する大学院生。力動的なアセスメントや面接法の基本が確かでないため、体系的に学びたい方

日程：全2回 7/24, 11/27（日曜日開催） 時間：9:30-16:30

料金：各回 16,500円（税込） **定員：**8名内外

科目名： 223-6 心理療法家のための応答構成法

講師：吉田 愛・能 幸夫

目標：心理職として面接場面でどのようにクライアントに反応し、応えているのか、自分の特徴をつかむ。また、自分の応答バリエーションを増やし、精練していく。心理療法の理論を実践として使ってみる。

内容：※このプログラムには事前課題があります

応答構成とは、架空の事例のある心理療法場面（抜粋）を読み、自分であればどのように応えるか、実際に応答を作ってみるグループワークショップです。クライアントの具体的な発言に対して、ワークシートを使いながら、自分とクライアントの「考えと認知」、「気持ちや感情」、「行動」を識別し、自分らしくクライアントに応答できるようになることを目指す。

1. 思春期女子と中年期男性の心理療法の16の面接場面において、応答をつくる。
2. 自分の「考えと認知」「気持ちや感情」「行動」（実際の応答）を振り返り、自分の特徴をつかむ。
3. メンバーや講師のコメントや応答を活かし、自分の応答を精練する。
4. 最終回には、16抜粋の応答をマニュアルに沿って分析し、対人援助職の自分としての特徴を総括する。

受講条件：臨床心理士および公認心理師の有資格者および受験資格取得者。もしくは心理系大学院生。

対象：心理職に従事している方。もしくは心理職を目指す大学院生。現在、心理療法を行っている

ない方でも関心のある方は参加可能（事前にご相談ください）。

日程：全6回 5/8, 7/3, 9/4, 11/6, 1/15, 2/5（日曜日開催） 時間：9:30-17:15

1回のみ参加（最終回のみ参加は不可）、複数回の参加も可。

料金：各回 16,500 円（税込） 通年 88,000 円（税込） **定員：**8名内外

科目名：223-7 PAS 面接技法集中講座

講師：小谷英文

目標：今現在の PAS 面接法技法習熟度を自己確認し、さらに技法能力を高める。

内容：講義と演習

参加者各自のケースフォーミュレーションに現れる課題をもとに、PAS 力動面接法、DER 技法、メンタライジング、セラグノーシス、構成－再構成面接法、セラグノーシス面接法、応答構成面接法の習熟トレーニングを行う。

受講条件：PAS 技法を用いて臨床実践をしている臨床家。

対象：現任の臨床家（臨床心理士、公認心理師、精神看護 CNS、精神科医、教師など）。

日程：年4回 6/26, 10/23, 1/29, 4/16（日曜日開催） 時間：10:00-16:30

料金：22,000 円（税込） **定員：**15名

看護プロフェSSIONALプログラム

科目名：224-1 アドヴァンスト PAS-SCT セミナー*オンラインのみ

講師：小谷英文

目標：PAS-SCT 基礎の受講者の実践力を高めることを目的に、ケースフォーミュレーションをベースにした看護臨床能力を身につけ、臨床実践が研究へと展開できるようになること

内容：講義と演習

1. グループスーパーヴィジョン：日々実践事例のケースフォーミュレーション
2. 介入インシデント場面の検討
 - 1)介入技法の取り出しとセラグノーシス
 - 2)フォーミュレーションの妥当性の検討
 - 3)介入技法練習
3. 事例研究テーマの検討
4. 訓練自己課題の体系化

受講条件：PAS-SCT 学会研修歴あるいは PAS-SCT 専門技法講座受講歴のあること

対象：看護師

日程：第4月曜日 18:45-20:30 全10回

5/23, 6/27, 7/25, 9/26, 10/24, 11/28, 12/26, 1/23, 2/27, 3/27

料金：年間受講 66,000円 各回受講/1回 6,800円(税込) **定員：**25名

※メンバーが集まり次第開講

※ニーズおよび訓練効果により対面によるスクーリングを企画する

3. スーパーヴィジョン

心理臨床に関わる理論は高度に抽象化されており、理論と技法とのつながりを実践的につかむことは容易ではありません。理論・技法を学んでも、それらの理論が現実場面でのどのように現れるのか、学んだ技法を実践の中でどう現実化していくのかを知らなければ、学んだ理論・技法を使うことはできません。当センターのスーパーヴィジョンでは、理論・技法を実践に落とししていく作法と技術、態度を、専門家として厳しく追求していくための機会を提供します。スーパーヴィジョンには、個人で受ける個人スーパーヴィジョンと、専門家が集まって共に受ける集団スーパーヴィジョンがあります。当センターでは集団スーパーヴィジョンも受け付けております。

当研究所では、以下に関わるスーパーヴィジョンを受け付けております。

- ・ カウンセリング
- ・ 心理療法
- ・ 集団精神療法
- ・ プレイセラピー
- ・ アセスメント
- ・ 学級経営
- ・ 災害支援
- ・ ワークショップ
- ・ コンサルテーション

【個人スーパーヴィジョン】

○対象：臨床心理士、公認心理師、教師、看護師、医師、ソーシャルワーカー、精神保健福祉士など対人援助職に携わる方。初心者からベテランまで経験年数は問いません。

○料金：45分 11,000円～（個人・税込） 30分 5,500円～（個人・税込）

* 頻度はご相談ください。

【グループ・スーパーヴィジョン】

対人援助職のためのグループ・スーパーヴィジョン：行き詰まった対話の展開の鍵を掴む

日時：第4土曜日 11時～12時 定員：4名

料金：3,400円/1回1ケース

対象：対人援助職の方ならどなたでも可。初心者大歓迎。医師、看護師、保健師、保育士、ソーシャルワーカー、教師等々

開催条件：2名以上申込があった場合に開催。

4. 教育分析

1978年、私は著名なH. Greenbaum先生に教育分析（training analysis）を受けたいとお願いしました。先生の応えは、「教育分析とは何ですか？ 私はアナリストやセラピストの分析・心理療法はやっていますが、それでは不都合なのですか？」でした。ニューヨーク大学ベルビュー病院での、いきなりの分析体験でした。

当研究所の個人心理療法・集団精神療法による教育分析は、心理療法家・カウンセラーの成熟性を目指す心理療法です。

PAS心理教育研究所 理事長 小谷 英文

当センターの教育分析には、個人で受ける個人教育分析と、専門家が集まって共に受ける集団精神療法やアイデンティティ・グループがあります。

（１）イントロダクトリー教育分析

教育分析を体験してみたい方向けの5回パックプログラムです。個人とグループの形式があります。

【個人】料金・時間：初回面接+教育分析5回のパック

週1回45分 7,700円～（担当セラピストによる）

【集団】料金・時間：初回面接:1回 45分 7,700円～（担当セラピストによる）

教育分析（全5回）：週1回90分 4,400円

（２）個人教育分析・集団教育分析

○個人教育分析

受講条件・対象：臨床心理士および公認心理師有資格者、もしくは受験資格取得者。その他、対人援助専門職の方。

料金：11,000円より（担当セラピストによる）／1回45分～

○男性のためのアイデンティティ・グループ

セラピスト：小谷英文 日程：第1・2・3木曜 16:40-17:25 料金：11,000円/月

○女性のためのアイデンティティ・グループ

セラピスト：小谷英文 日程：第1・3木曜 18:00-18:50 料金：7,700円/月

○教育分析（グループ）

セラピスト：小谷英文 日程：第1・3木曜 19:00-20:00 料金：16,500円/月

対象：臨床経験10年以上の男女

○心理職・対人援助職のためのグループ

セラピスト：髭 香代子 日程：第2月曜 19:00-20:45

料金：通年 55,000円（税込） 各回参加 5,500円（税込）

※詳細は単発プログラム「222-4 心理職・対人援助職のためのグループ」をご参照ください。